

事業者向け|放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室は1階 26.5 平方メートル、2階 9.9 平方メートル合計 36.4 平方メートルある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者 1 名、介護福祉士 2 名、社会福祉主事任用資格者 5 名、教員免許 2 名、児童指導員 6 名、強度行動障害支援者養成研修修了者 2 名を配置している（重複あり）。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		施設の構造上完全なバリアフリー化は困難であるが、訓練室の段差を埋めるためフロアマットを入れて高さを調節するなどの修繕を行った。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			毎月 1 回定例の会議には全職員が参加して年間研修計画に基づいて研修及び話し合い業務改善を図っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			7 月に保護者アンケート用紙を配布。事業所内会議で保護者等の意向を検討して業務改善につなげている。またアンケート結果はホームページ等でも公開している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所の研修で自己評価の検討を行っている。ホームページ等で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			日本発達障害ネットワークにおいて外部評価をしている。評価結果を今後の業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			強度行動障害支援者養成研修、埼玉県が実施する発達障害支援専

					門研修などの研修に取り組んでいる。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		契約時及び定期的に保護者へのアセスメントを行い、その面談を通して子どもの状況や保護者の希望を取り入れた放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	心理検査等は使用していないが、子どもの支援のために把握しておきたい項目があるアセスメント表を作成し使用している。今後随時改善していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		支援計画を作成するときに児童発達支援管理責任のみでなく、その子どもの障害や課題を職員みんなで話し合っている。日々の活動プログラムも打ち合わせで必ず確認している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎月の壁紙作り、季節の行事、おやつ作り、お出かけなどプログラムを工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日は近所の古谷神社や伊佐沼公園、水田のあぜ道などを散歩しているが、土曜日や夏休みなどの長期休暇では丸山公園や平成の森公園、狭山市立博物館見学などの行事を組んでいる。ゲームセンターで遊ぶ。ホームセンター、スーパーに買い物に行くなどいろいろな経験をつめるように支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		おやつの時のお手伝い、挨拶、集団での散歩、外遊び、創作活動等。自由時間は個々に遊ぶなど集団での子どもの課題と個別の課題を考えて計画を作成している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			パート職員を含む職員全員で打ち合わせを行い、支援の内容や一日の流れ、担当児童、送迎時間と運転手、添乗員等を決めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了が19時を過ぎることが多い。そのため日誌類の記入で当日は時間がないので個別に報告する事が多い。支援の振り返り、情報の共有は次の日の打ち合わせで行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別日誌及び業務日誌に通所時の子どもの様子を詳しく記入している。翌日の打ち合わせ会で話し合いをしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6カ月に1回見直しをしている。その他必要に応じて計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			トイレ、着替え等の自立支援。折り紙や粘土等で壁紙作り、季節の行事の創作を行っている。毎日の散歩や公園に行くことで地域住民との交流を図っている。自由遊びではそれぞれ好きな遊びをしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者やその児童の様子をよく知っている担当職員が会議に出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校だより、メールで行事やPTAの活動の様子を知らせてもらっている。個々の子どもの情報については送迎時の引継ぎや連絡帳等で対応している。

②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアが必要な子どもは通所していないが連絡体制は整っている。契約時のアセスメントで現在通院している医療機関や緊急時の対応を伝えてもらっている。またサービス提供中に子どもの容態に急変があった場合は、必要に応じて受診医療機関の主治医に連絡する。又は協力医療機関の病院に搬送するなどの必要な措置を講じている。
②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学前に通っていた療育センターや保育園での様子を保護者から聞き取っている。
②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		これまでの支援内容等の提供は保護者に提供している。作業所等の関係先にも情報を提供する態勢はできている。今後障害福祉サービス事業所等と連携を図っていく。
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達障害支援者専門研修を受講している。
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			かわみんハウスやこどもの城のプレイルームを利用する。伊佐沼公園のアスレチック広場で障害のない子どもと一緒にアスレチック等を楽しむこともある。
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			ふれあい福祉まつりに参加するなど川越市社会福祉協議会と連携を図っている。
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つ	○			送迎時や連絡帳、電話、保護者面談等で保護者に子どもの様子をできるだけ詳しく伝え、話し合い

		ているか				を行っている。
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者の療育の話や様子を見守りながら、相談を受けた時には誠実に個別に対応している。ペアレントトレーニング研修に参加を予定している。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	契約時に必ず契約書の読み合わせ、重要事項説明書の確認等で説明している。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	保護者から相談されたことに関しては誠実に個別に対応して、必要な助言等も行っている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会を開催している。今後も定期的に行い保護者同士の連携を支援していく。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している			○	着替えの服を間違えて他の子どもに送ってしまった。傘や水筒を忘れたなど忘れ物の苦情を受けた場合は直ぐに対応し保護者に報告している。また支援についての苦情は苦情受付担当者、苦情処理担当者をおいている。苦情の内容は打ち合わせ会議で必ず報告し全職員で情報を共有している。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	びたみん通信の発行、ホームページの開設、LINE等で活動内容や行事、送迎時間等の情報を発信している。
	㉖	個人情報に十分注意しているか			○	個人情報の書類は鍵のかかる棚に入れる。ホームページでは個人が特定できる顔写真などの情報はのせない。個人情報の書かれている書類はシュレッダーにかける等十分注意している。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			外国人の保護者には漢字にルビをふるなどの配慮をしている。また保護者の立場に立ってできるだけ分かりやすく説明して同意を得るなどの配慮をしている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			畑で収穫した農産物（きゅうり）を子どもと一緒に近所の住民に配った。またハロウィンの行事では近所のお宅を訪問してお菓子を頂くなど交流を深めた。地域の児童委員とも連携している。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアルを作成し壁に張り出すなど職員に周知している。ホームページでも周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災発生に備えた消防計画と消防訓練（年2回）を行っている。救急救命研修を実施した。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所研修でいろいろな資料を使い虐待防止の学習を行ってきた。今後も引き続き県の実施する研修に取り組んでいく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			子どもの様子から別室で養育することが望ましい利用者については、部屋を分けるなどの対応をしている。ただし、まだ放課後等デイサービス計画に記載したケースは発生していない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメントで保護者から食物アレルギーのある子どもであると報告があれば適切な対応をしていく。今後も食物アレルギーのある子どもが通所する場合は適切な対応をしていく態勢を整えている。

	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して 事業所内で共有しているか	○			何かあった場合はこまめにヒヤリハットに記入するよう声をかけあっている。記入された内容は打ち合わせで報告している。
--	---	--------------------------------	---	--	--	--